

小規模介護施設に発電機

西区・脳リハビリネット



脳リハビリネットワークが運営施設のすぐ横に新設した非常用LPガス発電機＝浜松市西区志都呂

浜松市西区志都呂の高齢者施設運営会社「脳リハビリネットワーク」はこのほど、同所の有料老人ホームとグループホーム用に非常用LPガス発電機を新設した。台風などで両施設が停電した際に最低1週間は給水できるようにし、入所者の生活環境維持を図る。

停電時、給水可能に

同社によると、小規模の同様施設での非常用発電機の導入は珍しいという。2018年秋の台風での停電を教訓に、事業継続計画（BCP）の一環で導入した。静音性が高く、燃料が劣化しないLPガスを選び、LP販売のエネシン（中区）が施工などを担った。

停電時に自動稼働して貯水槽からポンプでくみ上げ、2～4階の入所者約30人らに届ける。3階共用部の照明とコンセントも使え、衛生問題の解決や避難場所確保につながる。

BCP担当の藤田育典さんは「コロナ対策も必要な中、入所者の安全を第一に考えた環境整備と職員の意識徹底を続ける」と話す。

（浜松総局・萩島浩太）

2021年（令和3年）5月14日（金）静岡新聞